

高浜ビーチスポーツクラブ

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（案）

【R3.10.28 時点】

本ガイドラインは、夏の中部大会開催に向けて、より安全にビーチラグビー大会が開催できるよう検討している資料です。

現時点では（案）として示させていただき、秋の「メモマのメモマ」についてはレクリエーションイベントの要素も強く、まだ運営側も全てにおいて対応できない状況です。

しかしながら、できる限りコロナ対策を実施しながらスポーツイベントを楽しんでいただけたらと考えておりますので、参加者の皆様は、11月7日（日）イベント当日までにご一読のほどよろしくお願いします。

また今回参加されない皆様も、できればご一読いただけたらと思っております。

1. ガイドラインの目的

本ガイドラインは、コロナ禍に適応した「新たなビーチラグビー中部大会の在り方」について検討し、大会（練習会・講習会・イベントを含む）を安全に実施するために、選手・来場者・スタッフ関係者など、関係するすべてのものが遵守すべき事項を取りまとめたものであり、すべてのものが安全第一・感染拡大防止を念頭に行う行動をまとめたものである。

2. 感染症の考え方

（1）海水浴場における感染リスク対策の基本的考え方

新型コロナウイルス感染症の対策は、感染リスクが「飛沫感染」「気体中に液体ないし個体の微粒子が広がった状態のエアロゾル感染」「接触感染」の3つであると考え。それを踏まえ、海水浴場における大会や練習会は、選手、来場者、スタッフほかこの3つのリスクに晒される場面を洗い出し、その対策を講じることが必

要と考える。

現時点で考えられる海水浴場におけるビーチラグビーのリスク場面の考え方は以下のとおりである。

- ① 海水浴場（ビーチ）においては、屋外なのでエアロゾル感染のリスクは大きく下がる。考えられるのは、マスクを外したことによる飛沫感染のリスクであると考えられる。
- ② 浜茶屋では一般的な飲食店に比べて換気はよいと考えられるので、エアロゾル感染のリスクは少ないと考えられる。注意すべきは、飛沫感染及び接触感染のリスクである。
- ③ 接触感染のリスクは、ウィルスを含む飛沫を触った手を手洗い消毒せずに粘膜を触り感染することや、その手で他のものを触りウィルスを拡散させてしまうことである。
- ④ 3密の回避が重要であるが、マスクを外した状態、人々が大声をあげるプレー中の感染リスクをいかに下げることができるかがカギと考える。
なお、飛沫が到達するとされる2m（最低1m）のソーシャルディスタンスの確保が重要であり、プレー中以外は、ソーシャルディスタンスをそれぞれ確保し飛沫感染のリスクをできる限り下げる。
- ⑤ 検討事項として、大会規模やゲーム出場人数減少などの工夫を進める。

3. 大会スタッフの感染症対策

選手・来場者と接点が考えられるため、全スタッフ、日常生活の中でも感染予防を徹底する必要がある。ここでは、行事当日・日常生活での対策を記載しています。

① 来場時

- ・来場時に手洗い（手指消毒）を行う。※うがい実施が望ましい。
- ・来場前に自宅にて全スタッフは健康観察（検温）の実施。
- ・別途アプリによる入場者チェックシートに必要事項を記載すること。

② 行事中

- ・マスク又はフェイスガードを必ず着用する。
なお、熱中症に注意するため、ソーシャルディスタンスを保ちながら、適宜着脱のこと。
- ・できる限りパーテーション設置による飛沫感染の防止を図る。
- ・テント内など適切な距離を保つ。
- ・トイレ、扉、物品等複数人が接触する部分は定期的に消毒する。
- ・マスク等を外しての会話は避ける。

- ・ 飲食時の会話は控えること。
- ・ 大会で使用する用具を、適宜消毒を実施すること。
- ・ チャックシートで健康が確認できたスタッフは、専用の使い捨てリストバンドを着用すること。

③ 日常生活

- ・ 福井県民行動指針等の情報を収集し遵守する。
- ・ 休日の外出時は密を避ける。
- ・ 休日、外出する際には、店舗等の感染症対策の状況に応じて自主的な対策を取る。
(消毒シート、消毒液の持参等)
- ・ 外出時は、マスク又はフェイスガードを着用する。
- ・ 帰宅時の手洗い又は手指消毒、うがいの徹底
- ・ 家族が感染もしくは、感染を疑わせる症状がある場合は、自宅待機又は在宅勤務の実施

④ レフリー

- ・ できる限りマスクやフェイスシールド、マウスシールドを着用すること。
なお、熱中症に注意するため、ソーシャルディスタンスを保ちながら、適宜着脱のこと。
- ・ ゲーム前（整列前）およびハーフタイム中に手指消毒を実施すること。
- ・ ホイッスルは基本的に電子ホイッスルを使用すること。
- ・ 試合球はハーフタイムに消毒を行うこと。

4. 選手・来訪者の感染症対策

ここでは、選手・来訪者の感染症対策を記載しています。

(1) 選手・来訪者が行う一般的な感染症対策

- ・ それぞれの居住地における感染状況を情報把握し、各行政機関等から発せられる行動指針などを遵守し行動する。
- ・ 来場前2週間は、日頃から感染防止対策を徹底し、新しい生活様式などを参照し密を避けるとともに、感染拡大地域等への不要不急の移動は極力控える。
- ・ 別途アプリによる来場者チェックシートに必要事項を記載すること。
- ・ グループ内は、対面ではなくできる限り横並びで滞在する。

- ・他グループとの距離（推奨 2m、最低 1m）の間隔を開ける。
- ・飲食物の共有をしない。
- ・飲食時の会話は控えること。
- ・ゴミを処分する際は、マスク及び手袋を着用し、ビニール袋で密閉し捨てる。出来る限り持ち帰りに御協力ください。
- ・大会期間中、アルコールは飲まない。

(2) 選手・来訪者が行う大会等進行中の感染症対策

①練習中および受付時

- ・できる限りマスクやフェイスシールドを着用すること。
 なお、熱中症に注意するため、ソーシャルディスタンスを保ちながら、適宜着脱のこと。
- ・大声でのミーティングは絶対にしない。
- ・飲料物の共有は絶対にしないこと。
- ・タオルの共有はしないこと。
- ・大会申込時に別途アプリによる健康チェックシートに必要事項を記載すること。
- ・大会当日に別途アプリによる来場者健康チェックシートに必要事項を記載し、受付で健康が確認できた選手・来訪者は、専用の使い捨てリストバンドを着用すること。

②ゲーム中

- ・大声での指示や声援は極力避ける。
- ・選手同士の声掛けは極力避け、拍手や手招きでゲームを動かすこと。
- ・「タッチ」の声は特例的に必要としない。
- ・熱中症が懸念されるためマスクやフェイスシールドの着用は義務付けないが、終了時点は速やかにソーシャルディスタンスを保ち、マスクやフェイスシールドを着用および適宜着脱のこと。
- ・飲料物の共有は絶対にしないこと。
- ・タオルの共有はしないこと。
- ・ゲーム前（整列前）およびハーフタイム中に手指消毒を実施すること。

③ゲーム後

- ・手洗いやうがいを速やかに行うこと。
- ・着替え等はソーシャルディスタンスを保った状態で行うこと。

- ・飲料物の共有は絶対にしないこと。
- ・タオルの共有はしないこと。
- ・ゲーム終了直後は呼吸が激しくなることから、十分に呼吸を整えてから、それぞれの休憩場所に移動すること。(呼吸が激しいまま移動しない。)

5. 傷病者への対応

- ・傷病者に対応する際には、感染予防のため、マスク、手袋、目の保護具（サングラス・ゴーグル等）を着用する。なお、感染症の感染予防及び感染拡大防止の観点から、傷病者との接触を極力さけること。
- ・人口呼吸は行わない。
- ・傷病者本人又は家族、もしくは友人等に感染症の疑いがある人がいるか確認する。
- ・感染症の疑いのある傷病者で、救急搬送を伴う場合、救急車の出動要請時に感染症の疑いがある傷病者であることを確実に伝達する。
- ・傷病者にマスクの着用の協力を依頼する。なお、傷病者がマスクを持参していない場合は、救護ブース等に配置のマスクを提供するか、タオル又は衣類等で口及び鼻を覆うよう協力を依頼する。
- ・救護を行った際（救急搬送含む）は、救護ブースに設置の「救護者台帳」に傷病者の情報を記載する。

6. 感染症疑い・発生時の対応

(1) 感染疑い・発生時連絡先

感染疑い・発生時は福井県受診・相談センター等に相談する。

名称	連絡先
福井県 受診・相談センター	【平日 7:00~17:15】 TEL 0776-20-0795 ※土・日・祝同じ ※時間外は携帯番号案内

(2) スタッフの感染疑い時の対応

- ・全てのスタッフは、来場前あるいは出務中に次の条件に該当した場合、会長または事務局などに連絡した上で、原則自宅待機することとし、指示を仰ぐこととする。

◎発熱がある場合（目安は平熱+1℃以上とする。個人により平熱が異なるので、37.5℃未満でも発熱にあたる場合があるため注意すること。）

◎咳・のどの痛み等風邪症状がみられる場合

◎味覚や嗅覚に以上（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合

◎COCOA より感染者との接触が通知された場合

- ・会長および事務局は当該スタッフの様子を確認しながら、状況に応じて福井県受信・相談センターへ連絡する。

(3) スタッフの感染発生時の対応

- ・スタッフの感染が確認された場合、保健所の指示に従って対応する。
- ・スタッフは、速やかに、会長および事務局に状況を報告する（所定の報告フォーマットを利用のこと）。
- ・会長および事務局は主要スタッフに対し、個人情報の取扱いに留意しながら情報を共有する。
- ・保健所等が実施する濃厚接触者に関する調査の協力のため、会長および事務局は、感染したスタッフと接触した可能性のあるスタッフ・選手等をできる限りリストアップする。

(4) 選手・来訪者の感染疑い時の対応

- ・次の条件に該当する選手・来訪者があった場合、そのまま滞在を継続するのはリスクがあるため、別室や自家用車両等で待機していただき福井県受診・相談センター等に連絡する。

◎発熱がある場合（目安は平熱+1℃以上とする。個人により平熱が異なりますので、37.5℃未満でも発熱にあたる場合があるため注意する。）

◎咳・のどの痛み等風邪症状がみられる場合

◎味覚や嗅覚に以上（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合

◎COCOA より感染者との接触が通知された場合

- ・選手・来訪者、会長および事務局は、経緯をまとめた上で、福井県受診・相談センター等に対処方針を相談する。

(5) 選手・来訪者の感染発生時の対応

- ・保健所等から、選手・来訪者が感染していたと連絡があった場合は、保健所の指示に従って対応する。
- ・保健所等が実施する濃厚接触者に関する調査の協力のため、会長および事務局は、感染したスタッフと接触した可能性のあるスタッフ・選手等をできる限りリストアップする。
- ・会長および事務局は状況を把握し、その経緯等を確実に記録する。
- ・会長および事務局は主要スタッフに対し、個人情報の取扱いに留意しながら、感染した来訪者が来場した旨を共有します。

【様式】感染疑い・感染発生時報告書フォーマット

感染疑い・感染発生時 報告書			
No.	記入事項	記入内容	備考
1	報告日時 (追加報告は●次報告と追記)		
2	行事名		
3	主催者・担当者連絡先		
4	該当者・連絡先		
5	発生場所		
6	発生までの経緯 (いつ感染が分かったかなど感染が判明した経緯など)		
7	該当者の分類 (選手・スタッフ・来場者など)		
8	現在の対応状況 (例：保健所連絡後病院へ搬送済。ホテル待機済。自家用車待機済。イベント一時休止し消毒中など。)		
9	今後の対応		
10	その他		